

私は、熊野古道や伊勢神宮といったわかりやすい歴史文化ではなく、日常の中にある古き良き歴史文化を何年経っても変わらぬものにしたいです。三重県は派手で若年層の好むような文化ばかりではありません。自然に囲まれていて、安らかに落ち着いて過ごすことのできるところが一つの魅力でもあります。しかし、若年層からの支持がないとこれから私達が守っていくべき歴史も廃れてしまう可能性があります。実際、私達に身近な津新町の商店街などはだんだん潰れていって、昔ほどの活力はありません。若年層は商店街をそこまで利用することもなく、近くにスーパーやコンビニ、商業施設がたったことで客を取られていったけど、二十年、三十年先も、今の高齢者の思い出の詰まった商店街を記憶とともに形まで消してしまうのではなく、「商店街」という文化を廃れさせたくないです。熊野古道や伊勢神宮等といった歴史あるものだけでなく、私達が生活する中での思い出が歴史として形に残った文化を大切に残していける三重県にしたいです。時代の波に流されず、流行や、物珍しさにこだわらず、そうやって焦らなくても生き残っていける三重県にしたいです。何代も昔の人が、今の三重県を見たとき、昔と変わらず自然を重んじ、懐かしむ事のできる三重県にしたいです。私は三重県を離れて何十年後に戻ってきたとき、私の暮らした地元の形がないと悲しいです。だから、目先のものと三重県の発展のためにコロコロと目まぐるしく形ある三重を変えて行きたくないです。何十年何百年経っても、穏やかに腰をおろし、ここは変わらないなと思えるような三重県にしたいです。